

## 833 中央大学競走会

〔法学新報〕第34卷12(395)号 大正13年12月5日

○中央大学競走会 中央大学競走会の近況左の如し

○十月三十一日 明治大学陸上大運動会に大学専門学校優勝旗競走(千六百米リレー)に於て我大学最初の誇りなる優勝旗を贏ち得たり当日の選手は岡本喜作、小島純雄、梅村一、佐藤政視

○十一月四、五日 東京朝日新聞社主催世界四大選手(ミラ、ノルトン、シヨルツ、スペアロー) 歓迎国際陸上競技会に於て日本代表選手として本学予科三年岡本喜作出場し走幅跳に第一等を得記録六米五七

○十一月六、七、八日 大阪毎日新聞社、東京日日新聞社主催

全日本選手権大会に中央大学の選手出場左記結果を得たり△

四百米決勝 第二着 津島仙太郎△千五百米決勝 第二着

高橋清二△マラソン 第一着 高橋清二(記録二時四二分二

七秒八) 因に第二着との差約一哩、記録は神宮競技記録二時

四六分二四秒を破る△走幅跳決勝 第一等 岡本喜作(記録

六米五三) △ホップ、ステツプ、アンド、ジャンプ第一等岡

本喜作(記録一三米一一) △五種競技 第二等 岡本喜作

(点数表、走幅跳一、槍投八、二百米五、円盤投六、千五百

米一総計二十一点)

○十一月十六日 本学、校内選手権大会を挙すその結果左の

如し△百米 第一着 梅村一(一二秒五分二) 第二着 三島

益夫 第三着 櫻井一雄△二百米 第一着 佐藤政視(二五

秒五分四) 第二着 津島仙太郎 第三着 西尾専太郎△四百

米 第一着 津島仙太郎(五七秒五分二) 第二着 村上省吾

第三着 野極正造△八百米 第一着 高橋清二(二分一四秒

五分二) 第二着 湯本幸一 第三着 平野太郎七△千五百米

第一着 高橋清二(四分三一秒五分二) 第二着 湯本幸一

第三着 西川行雄△五千米 第一着 高橋清二(一六分四六

秒五分三) 第二着 宮本源太郎 第三着 平野太郎七△槍投

第一等 岡本喜作(三六米〇五) 第二等 三上幸雄(三四米

九五) 第三等 唐仁原秋夫(三三米八一) △砲丸投 第一等

唐仁原秋夫(一一米〇三) 第二等 三上幸雄(一〇米三五)

第三等 加藤正次(九米八〇) △円盤投 第一等 唐仁原秋

夫(二八米三一) 第二等 芳賀健太郎(二四米〇一) 第三等

三上幸雄(二二米八三) △走高跳 第一等 吉田猛(一米五

二) 第二等 梅村一(一米五二) 第三等 柏忠一(一米五

〇) △走幅跳 第一等 岡本喜作(六米三四) 第二等 梅

村一(五米九一、二分一) 第三等 三島益夫(五米七五) △

ホップ、ステツプ、アンド、ジャンプ 第一等 岡本喜作

(一一米九〇) 第二等 柏忠一(一一米六七) 第三等 加藤

正次(一一米五八)

次に来る大正十四年一月に挙行せらるる報知新聞社主催東京

箱根間往復百五十哩大学専門学校対抗駅伝競走に我中央大学

よりも出場する予定にして此頃毎日猛練習を行ひ優勝を期し

て奮闘しつつあり目下練習中の選手次の如し田代菊之助、平

野太郎七、高橋清二、山崎岩男、湯本幸一、山本光三、宮本

源太郎、浅井吉國、關谷忠男、村上省吾、谷口政盛、西川行

雄、坂口武男、佐藤政視、寺島直次、谷口敬三、中川英男、

津島仙太郎、岡本喜作